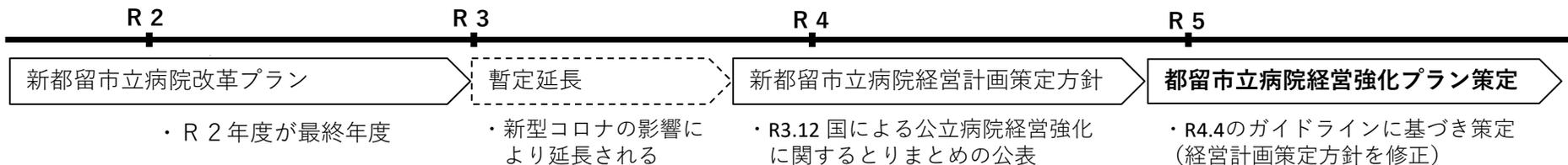


都留市立病院経営強化プラン（概要版）

1. プラン策定の背景



2. プランにおける6つの視点

- ① 役割・機能の最適化と連携の強化
- ② 医師・看護師等の確保と働き方改革
- ③ 経営形態の見直し
- ④ 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組
- ⑤ 施設・設備の最適化
- ⑥ 経営の効率化等

3. 当院の概要

- **基本理念**
地域の人々に親しまれ、信頼され、良質で安全な医療を提供し、地域社会に貢献し続けることを目指します。
- **基本方針**
 - 患者様に信頼されるあたたかい心の通い合う患者様中心の医療を行います。
 - 患者様の人権を尊重し、相互理解に基づく医療を目指します。
 - 常に医療水準の向上と安全な医療を目指します。
 - 業務の改善と効率的な運営に努めます。
- **診療科**
内科・整形外科・外科・脳外科・小児科・産婦人科等 14 診療科
許可病床数 140 床（急性期127、地ケア10、休3）

策定にあたっては、総務省による「地方公共団体による経営・財務マネジメント強化事業」を活用し、**外部環境の分析、経営実態並びに診療実態の調査分析**のもと、当院の経営改善に必要な課題と対策等、具体的な取組の提案を受けた

4. 当院を取巻く外部環境

- 1) 人口動態（都留市を含む医療圏域）
 - ・ 人口は継続的に減少傾向。
 - ・ 都留市は、65歳以上の高齢者は2040年まで増加。その後減少に転ずる。
- 2) 医療・介護需要（都留市を含む医療圏域）
 - ・ 医療需要は2025年以降減少。
 - ・ 介護需要は2030年まで増加。2045年から減少に転ずる。
- 3) 地域の医療提供体制
 - ・ 民間病院の立地が困難な不採算地区である。
 - ・ 市内における一般診療所数は12施設のみ。人口10万人あたり38.69施設。全国平均69.98施設と比較しても極端に少ない。
 - ・ 当院は事実上、地域の「かかりつけ医機能」を担っている。

当院の役割

- ・ 公立病院として、不採算部門である救急・小児・周産期・災害などの政策的な医療と高度・専門医療を担う
- ・ 地域住民の生活を支える「**地域密着型の小規模多機能病院**」としての役割を果たす。

都留市立病院経営強化プラン（概要版）

5. 経営強化プラン

1) 役割・機能の最適化と連携の強化

- ①地域医療構想等を踏まえ、地域に欠かせない公立病院としての役割を果たす。
- ②R2に開始した訪問診療を軸に訪問看護等の在宅支援体制を拡充し、病院から在宅まで切れ目のない医療を提供する役割を果たす。
- ③R2に急性期病床を13床削減し地域包括ケア病床10床を整備。今後も急性期から回復期への病床転換を進める。
- ④地元医師会との連携を強化し、地域完結型の医療を目指す。
- ⑤県内基幹病院、地域の医療機関との連携を継続。小児科による富士東部3病院連携を更に進める。
- ⑥地域災害拠点病院として、富士山噴火時には、地域住民のほか、富士北麓地域の災害拠点病院が機能停止になった場合には入院患者を受入れる。特に、当院は産科・小児科の入院機能を有し、専門職員もいることから、避難先としての役割を果たす。

2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

- ①継続的な中途採用の実施と医師の研修支援制度を創設する。
- ②積極的に臨床研修医を受入れられる体制づくり
- ③「断続的な宿直又は日直勤務の許可」を受けたことによる労働環境の改善。
- ④土曜日外来を休診とし、休日の確保や休暇の充実を図る。
- ⑤タスクシフト／シェアを進める。

3) 経営形態の見直し

病床利用率と経常収支比率の改善や地域医療構想との整合性などを確認できたのちに、現在の「公営企業法財務一部適用」から「地方公営企業法の全部適用」への移行に向けて取組む。

4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

感染症専門看護師の育成や県と感染症法に基づく「医療措置協定」を締結。また、感染症に対応した病室への改修など対策を実施。

5) 施設・設備の最適化

- ①「都留市公共施設個別施設計画」「都留市立病院個別施設計画」に基づき施設設備を適正に管理。整備費の抑制を図りながら収支の均衡を図る。
また築34年が経過する建物の建替えについての検討を進める。
- ②迅速な情報伝達と共有を目的に導入したグループウェアの更なる活用によりペーパーレス化を図り、業務の効率化を推進する。
サイバー攻撃対策として、システムのセキュリティを強化する。
- ③医療保険事務の効率化や患者の利便性向上に資するマイナンバーカードを活用したデジタル化を積極的に推進。

④経営の効率化

⑤経営指標に係る数値目標

- (1)収支改善に係るもの
- (2)収入確保に係るもの
- (3)経費削減に係るもの
- (4)経営の安定性に係るもの

⑥目標達成に向けた具体的な取組

- (1)役割・機能に的確に対応した体制の整備
 - ・集患営業（＝前方連携）、後方連携活動を積極的に行う。
 - ・地域包括ケア病床の比率を拡大
 - ・医療コンサルティング業者との連携により、コストの最適化、経費削減に取組む。
 - ・院内に経営改革プロジェクトチームを発足し取組む。
- (2)マネジメントや事務局体制の強化
 - ・R1度から事務局幹部に民間病院の経営経験者を採用し病院経営改革を推進。経営方針の転換や組織改編、目標の設定等。
 - ・R3度から黒字を達成。（コロナ交付金除く）
 - ・経営のノウハウが蓄積される事務局体制を維持し、病院全体のマネジメントの強化を図る
- (3)外部アドバイザーを活用し、経営改善につなげる。

都留市立病院経営強化プラン（概要版）

6. 数値目標

1) 医療機能に係るもの

指標	単位	令和4年実績	令和9年目標
救急患者数	人	2,227	2,270
救急車搬送数	人	1,148	1,190
手術件数	件	842	777
入院リハビリ	件	10,963	13,990
外来リハビリ	件	1,525	1,945
訪問診療件数	件	161	203
訪問看護件数	件	0	50

2) 収支改善に係るもの

指標	単位	令和4年実績	令和9年目標
経常収支比率	%	100.6	101.9
医業収支比率	%	80.2	85.5
修正医業収支比率	%	77.4	81.6

3) 収入確保に係るもの

指標	単位	令和4年実績	令和9年目標
1日当たり入院患者数	人	79	91
1日当たり外来患者数	人	381	460
入院患者1人1日当たり診療収入	円	40,459	43,274
外来患者1人1日当たり診療収入	円	10,066	10,540
病床利用率	%	56.1	65.5
平均在院日数	日	12.94	12.63

4) 経費削減に係るもの

指標（対修正医業収益比率）	単位	令和4年実績	令和9年目標
材料費	%	21.1	18.7
委託費	%	13.0	13.2
職員給与費	%	74.3	72.4
減価償却費	%	12.1	11.8

5) 経営強化プラン対象期間中収支計画（百万円）

指標	令和4年実績	令和9年目標
医業収益	2,519	2,885
医業外収益	884	840
病院事業収益A	3,403	3,725
医業費用	3,141	3,375
医業外費用	124	127
病院事業費用B	3,265	3,502
老健収益C	449	469
老健費用D	564	612
収益計E（A+C）	3,852	4,194
費用計F（B+D）	3,829	4,114
経常損益G（E-F）	14	80